

自転車盗・オートバイ盗

手口と現状

●自転車盗

本県における令和3年中の自転車盗難被害は、973件で前年に比べて184件(15.9%)減少しました。被害に遭った自転車の68.3%が鍵を掛けていない状態でした。

また、駅周辺での被害が多く、被害者の約65%が学生(小・中・高・大・専門)で、そのうち約6割が「高校生」です。

●オートバイ盗

本県における令和3年中のオートバイ盗難被害は67件で前年と同数でした。このうち、鍵を付けておいて被害にあったものが約2割でした。

鍵を抜いても、いわゆる「直結」という方法でエンジンを掛け、盗む手口もあります。

被害に遭わないために

●自転車盗

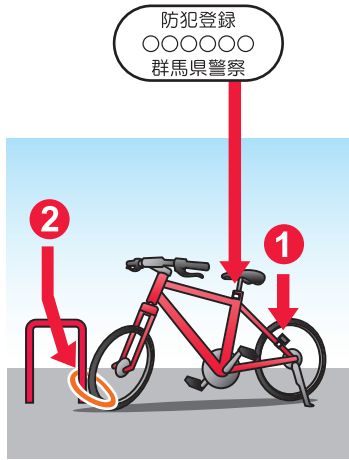
● 鍵かけを徹底する。
● 自転車を止めるときは、短い時間でも必ず鍵をかける。

● 鍵は2つかける。

鍵は、前後輪の片方にかけるだけではなく、ワイヤー錠やチェーン錠、金属製のU字ロックなどで二重ロックを心がける。ポールなどの固定物とくくりつける効果的。

● 路上に放置しない。

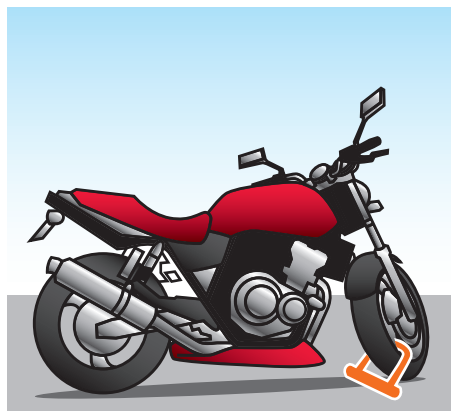
● 防犯登録をする。



●オートバイ盗

● 短時間でもオートバイから離れる時は必ずエンジンキーを抜き、ハンドルロックをかける。

● ワイヤー錠やチェーン錠、金属製のU字ロックなどをかけて車輪を回転できなくしたり、ポールなどの固定物にくくりつけると効果的。



被害に遭ってしまったら

● 被害自転車やオートバイの車体番号、防犯登録番号を確認し、警察へ届ける。
(盗難に備え、あらかじめ、番号を控えておくことが大切です。)

● 盗難届を出した自転車やオートバイを自分で見つけたときは、警察に連絡して、その後の対応を確認する。